

議案第11号 平成27年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案の提出について

上記の修正案を別紙のとおり、地方自治法第115条の3及び久喜市議会会議規則第17条の規定により提出します。

平成27年3月16日提出

発議者 久喜市議会議員

杉野 修

“ “

渡辺昌代

“ “

石田利春

“ “

平間益美

久喜市議会議長 井上忠昭 様

(別紙)

平成27年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案

議案第11号 平成27年度久喜市介護保険特別会計予算を次のとおり修正する。

第1条第2項で定める「第1表歳入歳出予算」を次のとおり修正する。

歳入

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
1 保険料		2,180,393	1,820,393
	1 介護保険料	2,180,393	1,820,393
3 国庫支出金		1,598,069	1,592,317
	2 国庫補助金	125,839	120,087
7 繰入金		1,572,432	1,932,432
	1 一般会計繰入金	1,572,432	1,932,432
歳入合計		9,020,500	9,014,748

歳出

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
1 総務費		450,544	444,792
	1 総務管理費	359,699	353,947
歳出合計		9,020,500	9,014,748

提出文書

修正案の提出理由

第11号議案 平成27年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案

市民所得が減少するもとの、住民の暮らしを守り、支援する措置を講じるものです。

市民の所得が減少する中、65歳以上の方の年金は減り続けています。さらに物価高、消費税の増税と続き、高齢者の方の暮らしはますます厳しさを増しています。

そのような時、平成27年度は第6期介護保険事業計画となり、今議会には平成27年度の介護保険条例の一部改正の条例が提出されています。第1号被保険者の基準月額、277円の増、6.3%の値上げとなっています。国の補助率の引き上げがないかぎり今後ますます負担が強えられるのは、目に見えています。さらに、医療・介護給付により、介護保険制度は大きく改正されます。これまで受けられていた方が保険給付が受けられなくなるものが出て来ます。老老介護、介護難民など、課題山積の現状での大改悪と言えます。

そして、平成27年度の介護保険の予算は、第1号被保険者の負担割合が1%増えた算出となっています。これ以上の負担増はするべきではありません。公費負担の50%は遵守すべきです。久喜市が受ける、国の調整交付金5%に満たない4.4%は、第1号被保険者に負担させるのではなく、公費としてまかなうべきです。さらに、低所得者の負担軽減として、当初予定されていた、軽減策は0.05%しか実施されませんでした。

以上のことから市民の命と暮らしを守るためにも、第1号被保険者の保険料を一人当たり9000円、総額3億6000万円の引き下げを行う予算修正となります。

その他の修正として、マイナンバー制度を構築する事業である、「社会保障・税番号制度システム整備費補助金」の削除を実施しています。マイナンバー制度は不必要と判断したものです。

以上

修正予算説明書 (介護保険特別会計)

歳入

(単位:千円)

NO.	P	目	節名	原案	修正額	修正後の額	修正概要
1	406	1 第1号被保険者保険料	1 現年度分特別徴収保険料	1,948,097	▲360,000	1,588,097	第1号被保険者の保険料1人約9000円引き下げる。40000人
2	414	1 介護給付費繰入金	1 現年度分	1,053,355	360,000	1,413,355	一般会計の繰入金
3	410	5 介護保険事業費補助金	1 介護保険事業費補助金	5,752	▲5,752	0	情報システムの構築。マイナナンバー制度に基づいた事業であり、不必要と判断
			合計	3,007,204	▲5,752	3,001,452	

歳出

(単位:千円)

NO	P	目	事業名	節・区分	原案	修正額	修正後の額	修正概要
1	418	1 一般管理費	3 一般管理業務経費	13 委託料	123,874	▲5,752	118,122	介護保険システム改修業務委託料。マイナナンバー制度に基づいた事業のみ不必要と判断 国支出分のみ削除
				合計	123,874	▲5,752	118,122	